



J.A しまねびより



SNSで旬な情報を
投稿しています



YouTube



Instagram



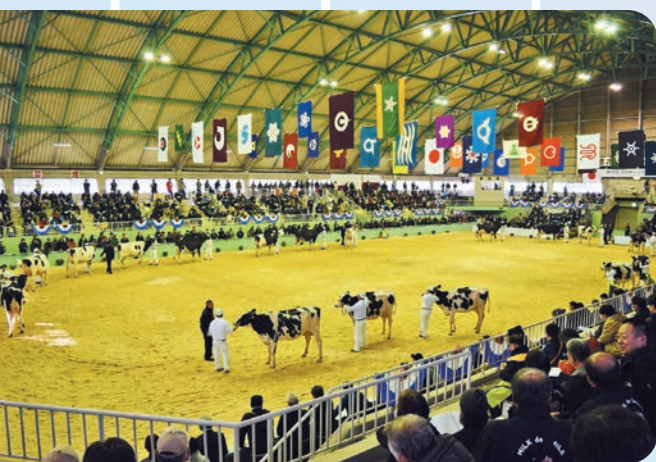
LINE



2026

8

August
Vol.125



特集 第12回通常総代会

来月の
外勤日は 9月16・17・18日



J.Aしまね 斐川地区本部版



2026

JAしまね第12回通常総代会を6月28日（日）、
浜田市の石央文化ホールで開催しました。



今年で第12回を数える通常総代会を6月28日（日）、浜田市の石央文化ホールで開催しました。

当日は、総代定数1,000人（欠員20人）に対し、950人（書面決議、代理人出席を含む）が出席。議長団に、松本雄一郎総代（やすぎ地区本部）、伊藤孝政総代（島根おおち地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下克美組合長は「令和8年度は中東情勢の不安定化など外部環境が不透明であり、コスト上昇、市場規模の縮小は避けられないと見ている。そうした厳しい情勢においても、事業利益3億49百万円、当期剰余金4億69百万円を目指し取り組む。農業振興支援事業についても、昨年度同様1億50百万円を計画している。JAの最大の使命は地域農業の振興であり、それを実践するためには盤石な財務基盤の確立が必須条件。新たな運営体制への移行に向けては、組合員・利用者の皆様へ丁寧に説明を重ねる中でしっかりとご意見を拝聴し、合意形成を着実に図っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を活発に展開することを確認しました。



議長団 伊藤孝政 総代(左) 松本雄一郎 総代(右)



竹下克美 代表理事組合長

食料・農業・地域政策の推進強化に向けた 基本農政の確立に関する特別決議（案）

我が国の農業・農村においては、生産基盤の弱体化や中東情勢等に伴う生産資材価格の高騰、供給不安定、気候変動に伴う高干ばつ被害の拡大・自然災害の多発化など、様々な課題に直面している。

食料・農業・農村基本法の改正や農業構造転換策など具体的な、食料安全保障の強化に向けた取り組みが大幅に進捗したなかで、国産農畜産物の消費者への安定供給を将来にわたり確保するためにも、水田政策の見直しなど重要政策の抜本拡充等により、生産性向上等の取り組みと、中山間地等の条件不利地における営農環境の整備等を加速化する必要がある。

以上をふまえ、JAしまねは食料安全保障の強化に向け、下記の事項に取り組む。

記

1. 中東情勢の悪化により、生産資材価格の高騰や供給不安定化等の影響が生じつつある中、国民の命に直結する食料生産を維持するため、今後の情勢に応じ、燃料や肥料、飼料の価格高騰対策などセーフティネット対策の拡充と供給安定対策に向け、組織の総力を挙げて取り組んでいく。

1. 基本計画に基づく水田政策の見直しにあたっては、生産現場の理解・納得が得られるよう、この間の情勢変化をふまえて、見直しの目的や将来的に目指す姿が明らかになるよう、政府・与党に強く要請していく。

1. 消費者が我が国の食や農の実態を「認知」「理解・共感」し、最終的には国産農畜産物を選択する動機付けにつながるよう、「国消国産」を軸とし、関係機関と一体となった統一運動を引き続き展開する。

以上、決議する。

令和8年6月28日

第12回 島根県農業協同組合 通常総代会

第12回

通常総代会特集

令和7年度 事業報告

令和7年度は長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化したことによりエネルギー供給や物流網の分断リスクが顕在化し、資源価格の高騰を招くなど、世界経済はさらに不安定な状況となっています。

国内では為替が円安基調で推移するなか、輸入原材料やエネルギーコストの上昇により企業収益や家計負担に影響を及ぼしました。加えて、猛暑の常態化・豪雨などの異常気象の発生や、令和8年1月には島根県東部を震源とした最大震度5強の地震が発生するなど、農業経営においても厳しい環境となりました。また、政府では「食料品の消費税ゼロ」について議論が展開されるなか、実際に施行された場合には、農業経営に大きな影響を及ぼすことが危惧されています。一方、近年は米価の上昇や需給の不安定化が社会的な関心を集めたこと

により、農業問題が消費者の生活に直結する形で認識されつつあります。

こうしたなか、JAグループにおいては引き続き「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合の役割発揮」の実現に向け、農業生産基盤や地域・組織・事業基盤の確立、



日高光弘 代表理事副組合長



珍部誠 代表理事専務

経営基盤の強化の取り組みを進めたほか、令和6年に改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ、「食料安全保障の確保」「適正な価格形成」に向けた国民理解醸成及び行動変容に向けた情報発信の取り組みを進めました。

主な事業活動として、令和7

年度は、「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大、東・中部米集約倉庫の新設など農業生産基盤整備の拡充に取り組みしました。

取り組みの結果、販売品販売高が417億7百万円、購買品供給高が295億76百万円、貯金残高が9,867億13百万円、貸出金残高が2,919億57百万円、長期共済保有高2兆5,480億25百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13・82%となりました。

収支面については、事業利益が11億10百万円、経常利益は17億49百万円となり、当期剰余金は9億86百万円となりました。

貯金残高	9,867億13百万円
貸出金残高	2,919億57百万円
長期共済保有高	2兆5,480億25百万円
自己資本比率	13.82%
事業利益	11億10百万円
経常利益	17億49百万円
当期剰余金	9億86百万円
販売品販売・取扱高	417億7百万円
購買品供給高	295億76百万円

【議案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和7年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和8年度事業計画の設定について
- 第3号議案 令和8年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第4号議案 令和8年度における理事の報酬額の決定について
- 第5号議案 令和8年度における監事の報酬額の決定について



令和8年度 運営方針・事業方針

指導事業

農業振興

「第4次農業戦略実践3力年営農計画」の2年目として、農業振興・営農指導、担い手育成支援等各部门で掲げる施策や指標の取り組みを通じて、生産基盤の維持・拡大に取り組みるとともに、「農業所得の増大」「安全・安心な地域農畜産物の安定供給」を実現することで、食料安全保障の貢献に努めます。また、コストに見合った適正な価格形成がなされるよう、生産者の再生産価格の確保に努めます。

持続可能な地域農業を実現するため、環境保全型農業を推進し、「有機農業の生産・販路・販売拡大」「GAP（農業生産工程管理）の普及」「堆肥の利用促進」、ICT技術（ドローンやセンサー等）を導入した効率的な施肥や水管理、作物の生産性向上につながる取り組み、また深刻化する異常気象に対応した品種の導入や栽培技術の確立など、農業者、行政一体となって推進します。

また、農業者の高齢化や後継者の減少に伴う労働力不足に加え、依然として生産資材価格が高止まりしている状況に

対応すべく「コスト低減」につながる取り組みを担い手目線で取り組みます。



重点実施事項

- ① 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ② 農業労働力の確保と育成
- ③ 出向く態勢の構築と営農活動支援
- ④ 次世代総点検運動を通じた地域農業（産地）振興計画の策定と実践
- ⑤ 島根県農協青年組織協議会の盟友拡大とJA事業運営への参画機会の増大
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業の継続実施
- ⑦ 営農指導強化による生産振興
- ⑧ 島根県農産物の安全・安心への更なる取り組み
- ⑨ 労働力軽減に向けたスマート農業の導入検討

くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

地域特性を活かした活動を展開し、地域貢献や地域活性化事業を強化します。また地域に根差した活動を通じて、組合員地域住民の連携強化を促し、地域活性化に取り組みます。

「国消国産」の理念に基づき、地元農畜産物の魅力を広めるためのPR活動を強化し、消費者に地元産品の良さを理解してもらうとともに、地域農業を支える意識の醸成を図ります。

また、次世代層に向けた情報提供とタイムリーな情報を発信するため

に、紙媒体とデジタル媒体を併用して、より効果的なコミュニケーションを図り、JAの活動が地域に根付くことを目指します。

販売事業

農業戦略実践3力年営農計画に掲げた調和型農業（有機農業）の普及・実践、需要に応じた米生産・集荷・販売強化、品質向上による畜産物産出額の維持拡大、酪農経営向上など作物別の施策を通じて、持続可能な農業への構造転換を推進するとともに、安全・安心・高品質な農畜産物の安定生産・安定供給に取り組み、地域の発展に寄与していくことを目指します。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、新たな運営体制において「地区本部の地域密着性」と「事業本部の専門性・効率性」を両立させるため、物流改革や資材店舗改革、EC取引による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

自動車燃料事業については、経営効率化や人材確保、職員の専門性強化を図り、将来的な地域インフラの維持と

組合員サービスの向上を目指すため、直営事業の事業本部制等による県域一体化に向け、協議・検討を進めます。

信用事業

持続可能な島根の農業と豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、農業・くらし・地域の多様なニーズに対して、JAしまねの総合事業性を活かした金融仲介機能を発揮し、将来にわたって支持・期待されるJAを目指します。

共済事業

組合員・利用者には選ばれ続ける存在となるため、対面接点やデジタル技術を活用した接点づくりに取り組み、3Q活動を起点とした情報提供活動を展開していきます。あわせて、組合員・利用者へきめ細やかな保障点検と、ニーズに応じた保障・サービスの提供を行うことで、組合員・利用者の豊かな生活づくりへの貢献に取り組みます。

※令和8年度事業計画より一部抜粋
令和7年度実績や令和8年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページ掲載の通常総代会資料をご覧ください。

総代会資料
はこちら



功労者表彰名簿

〈令和7年6月退任の皆様〉

第12回通常総代会開催にあたり、島根県農業協同組合の役員として運営、発展等にご尽力を賜りました退任役員の皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

表彰者名	在任時の役職	選出地区等
故 石川 寿樹	(代表理事組合長)	本店
故 山根 盛治	(代表理事副組合長)	本店
田中 徹	(常務理事)	本店
古川 敬	(理事)	本店(青年)
高橋美佐子	(理事)	本店(女性)
三島 明美	(理事)	本店(女性)
寺本美貴子	(理事)	本店(女性)
菅井 一	(理事)	くにびき
藤原 政文	(理事)	雲南
戸田 雅之	(理事)	雲南
蛭子 郁夫	(常務理事本部長)	隠岐どうぜん

表彰者名	在任時の役職	選出地区等
藤江美由紀	(理事)	出雲
小村 伸治	(理事)	出雲
高野 智子	(理事)	出雲
山根 善治	(常務理事本部長)	斐川
青木 広幸	(理事)	斐川
三上 博通	(理事)	島根おおち
藤若 将浩	(理事)	いわみ中央
田村 清己	(常務理事本部長)	西いわみ
黒谷 幹雄	(代表監事)	中部
三島 滋夫	(監事)	東部
倉橋 英二	(監事)	西部

(敬称略)

(故 山根盛治様は令和5年10月退任)



第12回総代会 Q&A



質問 【業績還元に関する質問】 配当率の引き上げは歓迎するが、増分の一部は利益貢献度の高い地区本部への配分に充ててほしい。かつて1億円あった業績還元が直近では4,700万円まで落ち込んでいる。利益貢献している地区本部の不満を解消するため、次期以降は1億円規模の水準へ戻すよう要望する。

回答 JAとして、出資配当、事業分量配当、地域還元の3本柱を重視しており、令和7年決算では検討の結果、1.25%を出資配当として実施しました。業績還元は、組合員への還元として出資配当に並ぶ重要なものであり、現在より増額できるよう、事業利益確保に向けて事業改革を進めていきたいと考えています。

質問 【農林中央金庫に関する質問】 2024年に起きた農林中央金庫の巨額赤字問題について、これほどの大損失は農協への還元額を減らし、組合員経営を圧迫する重大な問題である。今後は各農協が丸となり、農林中央金庫の経営を厳しく監視し、言うべきことは言う姿勢を貫く必要がある。

回答 農林中央金庫においては、令和7年度、1千2百億円の黒字決算を達成し、財務の立て直しは図られたものの、評価損が残存しているため、今期も無配という結果に至っています。黒字でありながら配当ができない現状に対し、JAしまねをはじめ各組織は、全国会議等で復配を強く求めています。また、農林中央金庫法の改正により外部から2名の理事を登用するなど、経営体制の刷新も進められています。

今後も農林中央金庫の経営高度化に向けた動きを注視し、引き続き一日も早い復配を求めてまいります。

質問 【米価に関する質問】 令和8年度の米価に対する不安が農家間で募っている。米価が大幅に下落すれば、高齢化が進む中山間地域の農業は維持困難になる。営農指導員が減る現状で、農家を支援する体制も危機的だ。消費者に価格転嫁の必要性を広くPRし、8月の概算金は最低でも1万円/30kgを下回らないよう切に願う。政府の施策と連携しながら農林水産省へも働きかけ、農村を守るためにJAが力を発揮してほしい。

回答 令和8年産の概算金については、8月理事会での決定に向けて取り組んでいます。過去最高水準の民間在庫量、販売進度の低迷等、厳しい状況ではございますが、米のコスト指標である60kg当たり20,535円を目指し交渉を行ってまいります。また、島根県と連携し、備蓄米の買戻しについての要望活動も行なってまいります。

営農指導員につきましては、新たな運営体制を検討する中で組合員の皆様の要望に応じてまいります。

この他にも
多くのご意見を
いただきました。



©よい食P

topics
1

水稲生産者大会開催 水稲新品種の名称「つぶきらり」に

島根県と島根県農業振興協会、ＪＡしまねは７月１３日、出雲市のビッグハート出雲で令和８年度水稲生産者大会を開きました。大会では島根米新品種「島系８４号」の名称を「つぶきらり」に決定したことを発表しました。当ＪＡの竹下克美組合長は、この「つぶきらり」について「島根を、日本を代表するお米となるよう、ＪＡでしっかり取り組んでいく」と意気込みを語りました。

高温に強い「つぶきらり」は、夏季の高温による品質低下への対策として育成され、多収で倒伏しにくく、粒が大きく良食味といった特性があります。名称は４５５１点の応募の中から選ばれ、名称考案者の福田しのぶさんには、石原恵利子副知事から記念品が贈呈されました。令和１０年産から本格的に栽培される予定です。

大会には、生産者、県、ＪＡ等の関係者らが参加。基調講演では月刊食糧ジャーナルの鶴田裕編集部長が「品種動向と産地戦略」と題し米の販売戦略について語りました。



新品種「つぶきらり」に決定

topics
2

「日本の農業どこへ行く」 組合長が島根大学で講義

ＪＡしまねの竹下克美組合長は７月６日、島根大学で学生向けに出前講座を開き、農業の現状や協同組合の役割を通じて地域農業の担い手確保を呼びかけました。

講座には生物資源科学部の学生ら約７０人が参加。前半ではＪＡしまねの有機農業の取り組みや事業概要を紹介し、後半には竹下組合長が「日本の農業どこへ行く」と題して登壇しました。昨今の「令和の米騒動」や米の概算金決定の仕組みなどについて詳しく解説しました。

現場の課題に対する学生からの関心は高く、質疑応答では積極的な意見が相次ぎました。受講した学生は「価格決定の仕組みや地域の農業を支えるＪＡの機能が理解できた」と話しました。

当ＪＡと島根大学は令和５年２月に包括的連携協定を締結。今後も大学との連携を深め、農業の振興と地域社会の発展につなげていきます。



講義をする竹下組合長

topics
3

生協しまねと意見交換 米集約倉庫も見学

ＪＡしまねは６月２４日、生協しまねの理事の皆様を招き、ＪＡしまね東中部米集約倉庫の施設見学会と意見交換会を実施しました。この取り組みは、生産者組織であるＪＡと消費者組織である生協がそれぞれの視点で意見を交わし、食と農、地域社会の維持と発展のために連携できることを模索する目的で行われたものです。ＪＡからは竹下克美組合長、米穀園芸部の西尾一俊部長らが参加しました。

見学会では、今年３月に完成したばかりの米倉庫を視察し、物流の効率化の重要性等を説明しました。意見交換会では昨今の米価高騰を中心に、双方から多くの質問や率直な意見が寄せられました。

生協しまねの安井光夫理事長は「ＪＡと協力して取り組めることはたくさんあると実感した。今後も継続的にこういった機会を設けていくことが大切だ」と話しました。



米集約倉庫の見学会を実施

JALまね

島根米

まんぷく フェスタ

2026

お米1人
争奪戦!!

2026

9.20 日

10:00 → 15:00

くにびきメッセ

大展示場(松江市学園南1丁目)

詳細は
JAしまねInstagramにて
随時発信していきます
右の二次元コードからアクセス!

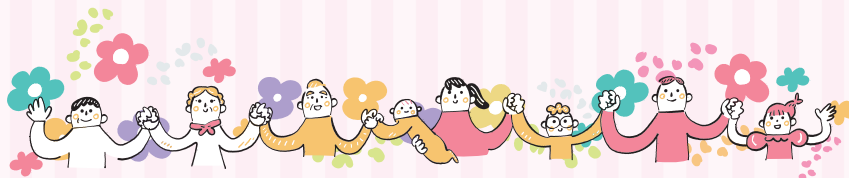
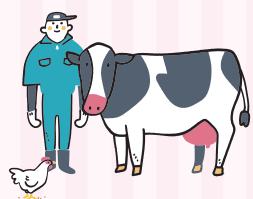


あなたの1票で
ご飯のおとも

No.1が決まる!

メシトモ GP

開催



「元気な地域」を女性部の力で!

島根おおち女性部

JA女性組織3カ年計画

『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で」の実践2年目です。

★助けあい♡ ★学びあい♡ ★育てあい♡

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

島根おおち女性部では、瑞穂、羽須美、石見、川本、桜江の5支部とフレッシュミドルミズ部会幸せのたねたんぽぽが、食農教育や国消国産活動、研修会などに積極的に取り組んでいます。

女性部独自の活動として、夏期に行う研修会があります。今回は、詐欺防止と「家の光」記事活用をテーマに行いました。島根県警察川本警察署と地元の田所、出羽駐在所にご協力いただき、詐欺防止についてお話を聞いたほか、「家の光」記事活用では、部員が講師を務め「チョウと花のチャームバンド」を作りました。

また、冬期には、15年前から「わが家の味つけものコンテスト」を開催しています。今年も2月に開催する予定でしたが、前日に大雪が降り中止となりました。しかし、石見支部では14品のエントリーがあったことから、急遽、有志11人が集まり持ち寄り会を行いました。森光美佐子部長も駆けつけ「家の光」記事から「刻みマイタケとのりのみそ汁」を振舞いました。

島根おおち女性部は、これからも研修などを通して相互研鑽に努めていきます。

★学びあい♡



一所懸命青年連盟

JA YOUTH

JAしまね隠岐青年連盟

JAしまね隠岐青年連盟は、会員12名（令和8年4月1日現在）で高宮武士委員長のもと米・畜産・野菜などの生産者が盟友として活動しています。

食農教育活動では、農業や食に関して興味を持ってもらえるよう町内の小学校で出前授業を行い、自らの声を直接子どもたちに届けています。

また、昨年度は町内のイベントにて隠岐の島町内で栽培されているお米の品種当てクイズを行い、普段食べているお米と違う品種を食べてもらうことでお米の品種による違いなどを感じてもらえるようなブースを設置し、多くの方に地場産品のPRを行いました。

今後も農業を通じた活動や交流の場に積極的に参加し、地域の活性化に貢献していきます。



地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

石灰資材で酸性土を矯正する

ホウレンソウはビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜です。特に日本人に不足しがちなビタミンB群（中でも造血作用に関係する葉酸）や鉄分、カリウムを多く含んでいます。

冷涼な気候を好み、生育適温は15～20度です。耐寒性は強いものの暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えてしまいます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培が容易で、特に冬取り（2、3月収穫）のホウレンソウは栄養価が高く、甘さも増しておいしいです。

【品種】

秋取り（10、11月収穫）では、生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「福兵衛」（タキイ種苗）など、冬取りでは寒さに強い「クロノス」（サカタのタネ）、「伸兵衛」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

【畑の準備】

ホウレンソウは酸性土を嫌います。土壌が酸性になると土壌中のアルミニウムが溶け出し、これが根の伸長を抑制するといわれています。そのため、アルカリ性である苦土石灰をまいて酸性土を矯正しましょう。

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、1平方m当たり化成肥料（NPK各成分10%）200gと堆肥2kgを土とよく混ぜて、幅100cm、高さ5～10cmの栽培床を作ります。

【種まき】

適期は9～10月です。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1、2cmのまき溝を切ります。このとき、園芸

用支柱などを土に押し付けて平らなまき溝を作ると良いでしょう。その後、1cm間隔に種まきします（図1）。

種まき後は約1cm覆土をして、たっぷり灌水（かんすい）します。そして、不織布のべたがけをして風雨や害虫から幼苗を守ります（図2）。

【間引き・追肥】

1回目の間引きは、発芽がそろったときに込み合っている所を抜き取ります。その後、2、3回に分けて間引きをして、最終的に株間4、5cmにします（図3）。

栽培期間が長くなる10、11月まきでは、草丈10～15cmの頃に1平方m当たり化成肥料30gを追肥し、株元に軽く土寄せします。

【病害虫防除】

ヨトウムシは見つけ次第捕殺し、アブラムシは、登録農薬で防除します。ただし、生育初期は不織布をべたがけして飛来を予防すると良いでしょう。

【収穫】

株間が広い（疎植）と、どの葉にも光が当たるように広がり（開帳性）、反対に株間が狭い（密植）と葉は細く、立ち上がった草姿（立性）になる傾向があります（図4）。

草丈25cmを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。

株元の根を鎌やはさみで切り取り、枯れ葉を除いて300gくらいを目安に束ねます。

図1 種まき

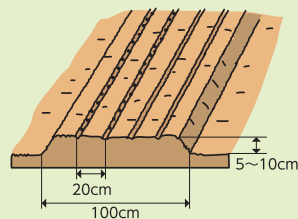


図2 ベタがけ

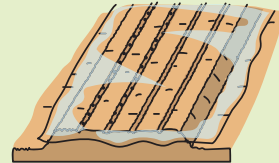


図3 間引き

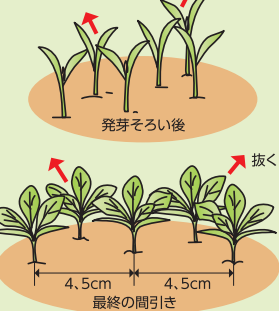
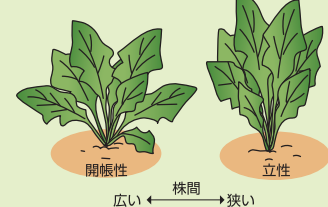


図4 収穫



栽培カレンダー（ホウレンソウ）

気候帯	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
冷涼地		●	■	■				
中間地		●	■	■				
暖地		●	■	■				

● 種まき ■ 生育 ■ 収穫



「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」をJAしまねホームページで連載中です。今月は「ソラマメ」!

理事会情報（7月29日開催）

- ①JAしまね安全・安心な農産物づくり運用規程および協定書の改正について
- ②令和9年度 島根県農業政策及び予算に関する要望について（第1次）
- ③新たな渉外管理・指導、渉外体制の策定について
- ④「支店・ブロックの機構改革」等について
- ⑤「統括支店職員を本店職員扱いとする人事異動」のすすめ方について
- ⑥「管理部門集約のすすめ方」の一部変更について
- ⑦令和8年9月1日付 機構改革の実施について
- ⑧ディスクロージャー誌2026について
- ⑨「新たな運営体制」における職制規程別表の見直しの考え方

と方向性について

- ⑩「新たな運営体制」を踏まえた「子会社管理の方向性」について
- ⑪令和8年度におけるマネロン等の防止にかかる対応について
- ⑫組合と理事との取引状況について（定期承認分）
- ⑬コンプライアンス・マニュアルの改正について
- ⑭大口貸出金の承認について
- ⑮総代選挙実施にかかる選挙管理者・選挙立会人等の指名について
- ⑯常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰新退職年金共済 財政再計算の試算結果および定年延長に伴う企業年金規約変更手続きについて
- ⑱令和7年度決算監事監査報告書 整備改善を要する事項（個別意見）への回答について

令和8年度地区本部別総代説明会

令和8年6月21日（日）に斐川地区本部総代説明会を開催いたしました。

斐川地区本部の総代の皆様から頂きました主なご意見・ご質問に対する回答をご報告いたします。

Q1

総代会への本人出席が少なく、書面議決権行使が多いため総代会開催前に議案採決が終わってしまっている。総代1,000人のうち半数以上が本人出席となるよう働きかけをお願いしたい。また、日当についても増額してほしい。

A1

出席総代が少ないことは課題として認識している。費用弁償のありかたについても検討をしている。

Q2

共済事業について毎年契約高が減少していると報告がある。建物更生共済は自然災害も保障するが満期があるため掛金が高く、加入しにくいとの声も聞いている。JAも掛捨ての建物更生共済を検討すべきである。



A2

JA共済の建物更生共済は掛捨てでないところがメリットであるが、実際に負担し続けられるかどうか、現実とのギャップが出てきているとのご意見として受け止めさせていただいた。全国共済連の方へつながせていただく。

Q3

地区本部特定財産274百万の活用による斐川西支店の取得にあたっては、組合員への業績還元額に影響が及ばぬよう、本店にて減価却費を負担願う。

A3

これまでの経過に沿って対応を協議する。





Q4

令和7年9月末損益の概況において当期剰余金が記載されていた。当期剰余金は税引後の金額であり期末に確定するもの。半期で記載すべきものではない。

A4

他地区本部からの要望により事業利益に実効税率を乗じ単純算出した数値を当期剰余金として記載した。ご指摘のとおり正しい数値ではないため、今後の対応について整理する。

Q5

総代会資料を見るとJAしまね全体で職員が約200名減少している。職員が減ることにより組合員との繋がりも希薄化しつつある。職員の初任給を上げていかないと人が入ってこないのではないか。

A5

職員の給与についてはベースアップを行ったところであるが充分であるとは思っていない。課題認識しており、労働環境の改善も併せて検討したい。

Q6

「需要に応じた生産」と言うが、具体的な数字はないのか。また、米の販売について新規開拓に取り組んでいるのか。報告が何もない。

A6

米を含む多くの農産物について全農に頼ることなくJAしまねが販売している。卸業者や市場へ伺い商談に取り組んでいるが、その取り組みが見える化されていないことは反省すべき点である。県内における令和8年産米の生産数量8万トンに対してJAの集荷目標を3万3000トンとして取り組んでいるところである。

Q7

共済における不祥事の後、葬祭における不祥事が発生した。現金の着服について3ヶ月間も気付かなかったのは異常である。組合長まで懲戒処分が及ぶように改善するなど組織内の処分対象を厳しくすべきである。そうすればチェック体制の強化につながるのではないか。

A7

今後の再発防止にむけたご意見としてしっかり記録に留め対応させていただきたい。



各組織が総会を開催

斐川町土地利用型 農家協議会

新体制と事業計画を承認

6月19日、斐川町土地利用型農家協議会（古川貴志会長）は、華満にて第26回通常総会を開催しました。当日は県、市、JAなどの関係機関および会員ら16名が出席しました。

同協議会は、概ね5ヘクタール以上の経営面積を持ち、農作業受託を行う22名の農家で構成されています。地域農業の機動力ある生産体制と経営の確立を目指しており、会員の総経営面積

は500ヘクタールを超え、耕地利用率は125%以上という高い生産効率を維持しています。

開会にあたり古川会長は、「地域計画の実現に向け、貴重な農地を守り次世代へ引き継ぐことが我々の使命である」と述べ、持続可能な地域農業の実現へ向けた決意を表明しました。

総会では役員改選が行われ、新会長に東地区の古川敬氏が選出されました。あわせて、今後の事業計画として「新たな農業政策や制度への対応」「関係組織との連携強化」「諸課題の集約と関係機関への要請活動」を柱とする方針案が承認されました。

斐川町集落営農組合 連絡協議会

「もの・ひと・しくみづくり」を柱 に新年度方針を決定

6月29日、斐川町集落営農組合連絡協議会（石川克巳会長）は出雲空港ホテルにて第32回通常総会を開催しました。当日は県や市、JAなどの関係機関、および構成組織37団体の役員ら計84名が出席しました。

冒頭、石川会長は獣害発生時にLINEを活用して迅速な情報共有を実現した経験を挙げ、「情報の先取りと共有の重要性」を強調しました。あわせて、農作業中の事故防止や熱中症対策といった安全管理の徹底を呼びか



けました。

来賓として挨拶した島根県東部農林水産振興センター出雲事務所今井裕作所長は、高齢化や担い手不足という厳しい現状に触れつつ、後継者育成に向けた「大人のあぐり探検隊」の発足を高く評価し、協議会の活動を激励しました。

総会では役員改選が行われ、新たに（農）ひむろの郷の樋野篤組合長が会長に選出されました。また、事業計画として「もの・ひと・しくみづくり」として「ものづくり」「ひとづくり」「しくみづくり」の3本柱を掲げ、「技術継承支援」「後継者育成支援」「組織間連携」を推進する方針案が承認されました。

斐川町農政会議

7月7日、営農総合センターにて第53回斐川町農政会議通常総会が開催されました。

当日は、島根県農政会議の山中康樹会長、池田一県議会議員、飯塚俊之出雲市長をはじめとする来賓を迎え、13名が出席しました。

冒頭の挨拶で、勝部喜政会長は近年の水利・雑草対策や増加する鳥獣被害の現状に触れ、「斐川町は恵まれた条件にある地域だが、諸課題の解決に向け、今後も行政への要望活動を継続していく」と述べました。

続く飯塚市長の挨拶では、助成事業等について「多くの申請をいただいております、すべて予算を確保して応えてい





きたい」と前向きな姿勢が示されました。また、支援メニューのさらなる拡充に向けて、現場からの積極的な要望を呼びかけました。

総会では、農業・農村の活性化に向けた農政活動の推進、消費者や地域住民の理解促進、ならびに組織強化を図る活動方針が承認されました。

なお、役員改選が行われ、勝部会長が再任されました。

斐川青年連盟

7月10日、JAしまね斐川青年連盟（森恒友委員長）は、華満にて第64回通常総会を開催しました。当日は盟友27名が出席しました。

冒頭、森委員長は令和7年度の活動を振り返り、「くにびきマラソンへの参加やInstagramの開設といった新たな試みを通じ、県内外へ広く活動を発信できた」と報告しました。

あわせて、「盟友ファーストの姿勢を貫き、地域とともに成長できる団体を目指したい」と今後の抱負を語りました。

総会では、組織内外への情報発信を強化して日本農業への理解を促進することや、食農教育の推進および組織の活性化を通じて、次代の地域農業を担うリーダーを育成することなどが承認されました。

斐川グリーンセンター 野菜等出荷者協議会

7月21日、JAしまね斐川グリーンセンター野菜等出荷者協議会は、宮農総合センターにて第32回通常総会を開催しました。

冒頭、高橋進会長は「農業を取り巻く環境が厳しい中、会員の皆様の尽力により、地域へ安全で新鮮な野菜を安定して届けることができた」と述べ、日頃の活動に対する感謝を伝えました。

総会では、令和7年度の販売実績について報告があり、会員の高齢化や出荷量の減少といった影響を受け、前年度比88・3%という結果が示されました。



今後の活動計画としては、引き続き「安全・安心・新鮮」を掲げて信頼の確保に努めるほか、新規会員の獲得に向けた推進活動を展開していく方針が承認されました。なお、役員改選では高橋進会長が再任されました。

農業者・女性部 健診を実施

日頃の健康づくりをサポート

7月28日と29日の2日間、JA島根厚生連健康管理センターにて「農業者・女性部健診」を実施し、計80名が受診しました。参加者は各種検査を通じ、

日頃の健康状態を再確認しました。

今回の健診では、市の「特定健診」に加え、心電図、眼底検査、骨密度測定を実施しました。さらに、40歳以上を対象とした肺がんの早期発見に有効な胸部CT検査や、筋肉量測定を基本コースとして設定しました。

また、オプションとして経鼻胃内視鏡検査や頸動脈エコーなど、多様な検査を組み合わせた特別メニューも用意し、内容をより充実させました。

いつまでも元気でいきいきと過ごすためには、定期的な健康チェックが欠かせません。今後も健診を積極的に活用し、健康づくりに努めましょう。



営農第一課から TEL 73-9616

水稲

「きぬむすめ」は出穂期～穂揃い期に入ります。出穂期から穂揃い期は最も水が必要な時期になるため、湛水管理を行いましょう。穂揃い期以降は、間断かん水を行います。間断かん水の期間は出穂後25日は必要です。根の活力を維持するとともに収穫が近づくにつれて、かん水の回数を減らし収穫に備えて土壌を少しずつ固めていきましょう。

「つきあかり」の収穫時期です。「つや姫」「コシヒカリ」についても、まもなく収穫時期を迎えますので適期刈取に努めましょう。

適期刈取りの判断

収穫の判断は、ほ場内の平均的な穂を何点か抜き取り、**青味籾率が10～15%の時期が適期です。**(下記図参照)

収穫作業に日数を要す生産者の方は、青味籾率15%の時期から収穫を開始してください。

収穫が早過ぎると青未熟粒が多くなり、反対に遅過ぎると胴割粒、茶米及び乳白粒が増加し、玄米の光沢も失われ、いずれも品質が低下します。

○胴割粒の発生要因

①刈り遅れ

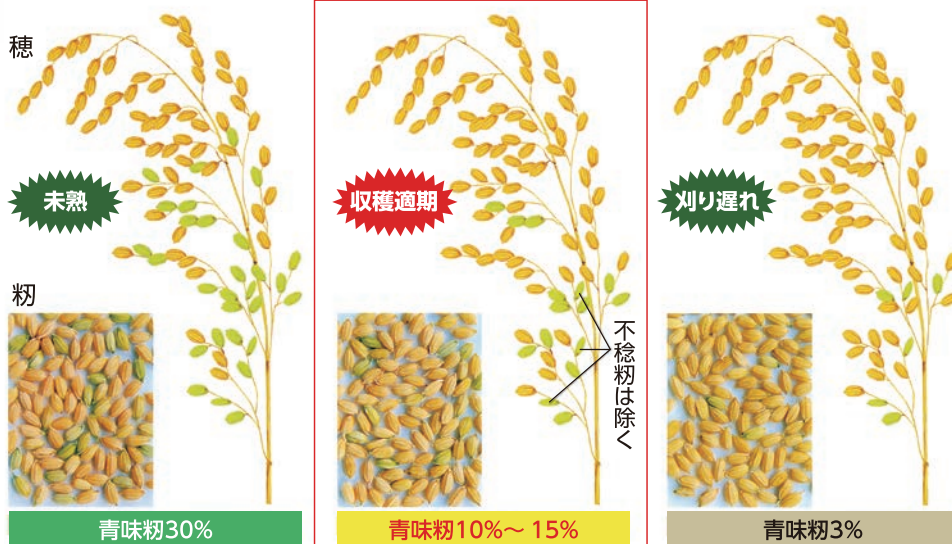
②早期落水による土壌水分不足

③過乾燥

④乾燥速度が早い

胴割粒：精米すると割れてしまい、炊飯時にノリのようにべちゃべちゃとした炊き上がりのご飯になってしまいます。

適期刈取等ご不明な点がございましたら営農第一課までお問合せ下さい。



「きぬむすめ」の基幹防除の徹底について

イネカメムシ・斑点米カメムシ類の発生が多い状況です。

イネカメムシは基部斑点米を発生させ品質低下を招くほか、出穂期に籾の基部を加害することにより不稔粒を発生させ減収となります。また、イネカメムシは稲から稲へと移動する特徴があります。そのため、早い品種の収穫が始まり遅い作型の「きぬむすめ」に集まりますので注意が必要です。基幹防除を徹底しましょう！

イネカメムシの防除適期は出穂期(注1)です。防除適期を逃さないよう注意しましょう。

防除薬剤や使用基準・散布時期について詳しくは「令和8年産水稲現地指導会資料(2回目)」「HP」にも掲載をご覧ください。

(注1) 出穂期：全体の40～50%の穂が出た状態。ほ場の外周部に走り穂が出て、およそ3～5日が出穂期を迎えます。

稲を加害する主なカメムシ



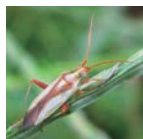
イネカメムシ
体長：12～13mm



イネクロカメムシ
体長：10mm程度



トゲシラホシカメムシ
体長：5mm程度



アカスジカスミカメ
体長：5mm程度



クモハリカメムシ
体長：16mm程度



ホソハリカメムシ
体長：10mm程度

土づくりをして地力を高めましょう!

資材課では土づくり資材の粒状ミネラルGフレコン(1本:200kg)の散布を受け付けております。粒状ミネラルGの散布の申し込みについては、7月の農業振興区長・補助員兼生産委員合同会資料として申込書を各生産委員の皆様にお渡ししております。また、JA営農総合センター内の資材課にも申込書を用意しておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

なお、土づくり資材散布には地域主体型生産調整推進事業より散布助成(1,800円～ 2,000円/ 10aを上限に、面積に応じて予算の範囲内で単価調整)があります。

注) 支払い要件として、土づくり資材散布助成及び堆肥散布助成は同一圃場に対して、どちらか一方の助成且つ、同一圃場での複数回散布は1回のみ対象となります。



**JAしまね
特別価格!!**
(税込)

10a用 アグリ革命 細粒 2kg	10a用 アグリ革命 アファ 液100ml	50a用 大型規格 アグリ革命 アファ 液500ml
¥2,340	¥1,853	¥7,106

アグリ革命はここがすごい! /

- ポイント1** 酵素の力で稲わらを分解!
・土壌環境に影響されことなく効果を発揮します。
- ポイント2** うきワラ・ガスわきが驚くほど減少!
・乾田・湿田に関係なく効果を発揮し、生育をサポートします。
- ポイント3** 自由に希釈できる液剤タイプ!
・田んぼの面積に関わらず、全ての農家様にお使いいただけます。
- ポイント4** 10aに1袋を撒く細粒タイプもあります!



JAしまね特別価格です。この機会にぜひご注文ください。



女性の元気でいきいきJA /



花いっぱいでおもてなし

JAしまね斐川女性部では、JAしまね女性部統一行動『おもてなしプロジェクト』の一環として、支店を利用される組合員や地域の皆さんを花で迎えようと、各支店と支店が協力してプランターへの花苗の植え付けを行いました。

今年度は、6月7日に伊波野支部、6月16日に本部、6月29日に中部支部、7月6日に庄原支部で実施。女性部員とJA職員が協力し、支店玄関前のプランターに季節の花苗を丁寧に植えつけました。

参加者は色合いや配置を考えながら作業を進め、「来店される皆さんに気持ちよく利用していただきたい」との思いを込めて取り組みました。

色鮮やかな花々が支店玄関を彩り、訪れる方々を温かく迎えています。斐川女性部では今後も、JAと連携しながら地域に親しまれる支店作りに取り組んでいきます。



JA 女性部 活動予定

8月19日(水)	9:30~	ひまわりグループ
8月27日(木)	9:30~	書道グループ
9月 8日(火)	9:30~	ちぎり絵グループ
9月 9日(水)	10:00~	いきいきグループ

9月14日(月)	13:30~	絵てがみグループ
9月17日(木)	9:00~	手芸グループ
9月21日(月)	9:30~	パッチワークグループ
9月24日(木)	9:30~	書道グループ

新規加入大歓迎!! 待っちゃーよ!

場所は全日
ひかわあぐりキッチン ふぁみーゆです

〈お問い合わせ〉
組織広報課 73-9605

総務課から

TEL 73-9603

斐川地区本部運営委員会情報

7月24日開催

報告事項

- (1) 令和7年度産米販売進捗等について
- (2) 石油情勢及び石油課実績について
- (3) 貯金・貸出金実績(令和8年6月末)について
- (4) 月次決算書・主要実績一覧表(令和8年6月末)について
- (5) 斐川西支店の建設工事予定について



大募集!!

「我が子自慢・孫自慢」

あなたが撮った写真をご応募ください。
掲載された方にはささやかなお礼の品を差し上げます!
〒699-0593 JAしまね 斐川地区本部 組織広報課
(※住所の記載は不要です)
Eメール: kouhou.hik@ja-shimane.gr.jp
※写真にはコメント、住所、お名前、連絡先を付けて応募して下さい。



応募メールアドレス





出雲市は、令和9年(2027)初夏、本州で2例目となるトキの放鳥を稗原地区で行います。放鳥まで1年をきり、改めてトキの生態をはじめ、放鳥・野生復帰に取り組む意義や活動内容についてシリーズでお知らせします。

いずも
トキファンクラブ
LINE会員
募集中!

【トキに関するお問い合わせ】
出雲市政策企画課プロジェクト推進室
TEL 0853-21-6079



トキの野生復帰に取り組む目的

すべての生物は、互いに補いあい影響しあって生きており、ある種や生態系が失われると他の生物にも影響が及び、全体のバランスが崩れてしまいます。

私たちの生活は、多くの部分が自然によって支えられており、人と自然が共生する社会を構築するために、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進していく必要があります。

出雲市は、「トキが生息できる環境は、人も暮らしやすい環境になる」と考え、トキを環境にやさしいまちづくりのシンボルとして位置づけ、トキの保護増殖に取り組んできました。

出雲市は、トキを通じて環境保全意識の向上につなげ、環境と経済の好循環により、持続可能な地域社会の実現をめざしています。



トキの餌場整備の取組を支援します！

出雲市では、トキのエサとなる生き物を増やす取組にかかる費用の補助を行っています。ご協力のほどよろしくお願いします。

申請期限は
10月30日まで

1. 補助対象経費

①ビオトープの整備費

さまざまな生きものが生息・生育する空間として、休耕田等を、年間を通じて水が張ってある状態に整備するもの

②土水路の設置費

田んぼの脇に土水路を設置し、田んぼに水がない時期のドジョウなど水生動物の避難場所として整備するもの



ビオトープの例



土水路の例

2. 補助金の額、補助の対象となる方

①補助金額：上限20万円

(補助率：補助対象経費の10 / 10)

②補助対象者：水田管理者(耕作者・所有者)

3. お問い合わせ

出雲市農業振興課 TEL 0853-21-6582

JA全農島根農機サポート株式会社から

TEL 73-9620

秋の農繁期対応についてのお知らせ

8月22日(土)～10月4日(日)

営業時間 8:30～17:00

(土日、祝日営業いたします)

全国的に農作業中の熱中症による事故が増加しています。体調管理に十分気をつけ、熱中症および不注意による事故に注意しましょう。



金融課から

TEL 73-9609

相談無料です！

ぜひお越しください！

年金に関するあらゆる質問にお答えします JA年金個別相談会



8月29日 土
9:00～12:00

斐川地区本部
斐川統括支店 金融課

住所 出雲市斐川町莊原2172-3

年金相談会にお持ちいただくもの

- ①ねんきん定期便
- ②年金請求書(お持ちの方)
- ③年金手帳(ご本人+配偶者)、または年金証書(すでに受給している方)
- ④雇用保険被保険者証(女性の方のみ)
- ⑤厚生年金基金加入員証(加入歴のある方)
- ⑥印鑑(認印)

当日はセミナー形式ではなく個別相談形式で行っております
ご予約状況によっては、お待ちいただく場合もございます

- 1. 事前にご予約をいただきますと優先してご案内させていただきます
- 2. ご自宅等への訪問相談も実施しております(当日ご都合のつかない方はご連絡ください)

お問い合わせ
ご予約は…… 金融課 ☎73-9609 まで



生活課から

TEL 73-9622

洋裁教室 生徒募集中



会場 JAしまね出東支店 会議室

日時 第1・第3月曜日 AM9:30～AM11:30
(都合により変更になる場合があります)

講習費 1回 1,600円 講師 岡 由美 先生

※材料とミシンは各自でご持参ください。



基本から応用まで 作りたい作品を自由に製作できる教室です。

洋服のリフォーム

オリジナルの服やカバンを作ってみませんか？

★祝日の場合は次の週となります

★1回だけの参加でもOK!その場合はご連絡して下さい

※募集人数に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい！

グリーンセンターから

TEL 73-9070

全国発送承ります



今年も上質な梨ができました。
山陰の味を全国にお届けします!!

二十世紀梨

東郷産、倉吉産、安来産

8/20 木 より 予約受付開始
いたします!

斐川グリーンセンター 秋の有機肥料まつり

期間：8/22(土)～30(日)

肥料 (特売)

◎醗酵鶏糞 (マッシュ) 15kg 1,500袋限定
..... 108円

◎サンライム (有機石灰) 20kg
..... 730円

◎有機入化成8号 (N8-P8-K8) 20kg
..... 3,980円

◎牛糞堆肥 (大東エコ) 15kg
..... 418円
他多数

秋まき
種子

(タキイ・サカタ・ナカハラ・
山陽種苗・トーホク他)

各種入荷

野菜苗

(キャベツ、ブロッコリー、レタスなど)

各種入荷

野菜等出荷者協議会 新規会員説明会

とき 令和8年 8月25日 (火)
14:00～

ところ JAしまね斐川地区本部
営農総合センター

内容 ・出荷者協議会の会員になるためには
・活動内容についての説明

皆さんお気軽に
ご参加ください!!



ご自宅でできた自慢の
野菜・花・果物などを、
自分のペースで出した
い時に出しながら、仲
間と楽しく元気に活動
しています

※会員資格は男女
問いません

ガス住宅課から

TEL 72-3304

JAしまね斐川ガスセンター

謝恩セール! 半期に一度の

今年もやってきた!! 大好評 紙上展示会!!

セール期間 2026年7月18日(土)~9月30日(水)まで



お急ぎください!
早い者勝ち!!

限定

目玉商品

01 ビルトインコンロ Rinnai

ヨコット
プレート
付属

RHS71W42J2RSTW

LiSSe

276,100円(税込)

133,000円 (税込)

部材費・工事費別途 税込 146,300円



02 ビルトインコンロ Paloma

ラ・クック
グラン
サービス

PD-829WS-U75GH

WITHNA

239,250円(税込)

104,000円 (税込)

部材費・工事費別途 税込 114,400円



03 ビルトインコンロ NORITZ

ロゼット
プレート
付属

N3WU6N4STEC

Nest

244,420円(税込)

100,000円 (税込)

部材費・工事費別途 税込 110,000円



ガスファンヒーター

今だから
オトク!!

期間限定

早期受付キャンペーン

レンタル

暑い季節ですが、冬に備えて
ガスファンヒーターは
いかがでしょうか?

寒い冬は
嫌だ!!

早期受付特典 (8/31まで)

- ①ガス配管工事費... **15,000円割引**
- ②レンタル料... 毎年 **500円割引**

Rinnai SRC-365E



年間レンタル料
2,000円(税込)
(5年間のレンタル)

コンクリート造
15畳
木造
11畳

(有)斐川農協自動車整備工場から

TEL 73-9627



今月のおすすめ中古車情報!



掲載車は令和8年8月8日現在のものです。当日迄に売り切れの場合はご容赦ください。表示価格は総支払価格です。

全車修復歴なし



未使用車

SUZUKI
キャリトラック KC
4WD・AT・AC・PS・ラジオ

総額 **137 万円**

(車両131.4万円/諸費5.6万円)

- 年 式: 令和8年7月
- 走行距離: 4千キロ
- 車 検: 令和10年7月



DAIHATSU
ハイゼット ジャンショ
4WD・AT・AC・PS・PW

総額 **112 万円**

(車両107.6万円/諸費4.4万円)

- 年 式: 平成28年10月
- 走行距離: 5.8万キロ
- 車 検: 令和8年10月



DAIHATSU
ハイゼットトラック スタンダード
4WD・5MT・AC・PS・ラジオ

総額 **109.8 万円**

(車両103.5万円/諸費6.3万円)

- 年 式: 令和4年7月
- 走行距離: 1.4万キロ
- 車検整備付



SUZUKI
スーパーキャリイ L
4WD・5AGS・AC・PS・ラジオ

総額 **109 万円**

(車両103.9万円/諸費5.1万円)

- 年 式: 令和1年8月
- 走行距離: 2.1万キロ
- 車 検: 令和9年8月



NISSAN
NT100クリップパートラック DX
4WD・5MT・AC・PS・ナビTV

総額 **92 万円**

(車両87.2万円/諸費4.8万円)

- 年 式: 令和3年11月
- 走行距離: 3.5万キロ
- 車 検: 令和9年6月



SUZUKI
キャリトラック KC
4WD・AT・AC・PS・ラジオ

総額 **92 万円**

(車両85.7万円/諸費6.3万円)

- 年 式: 平成28年7月
- 走行距離: 4.7万キロ
- 車検整備付



SUZUKI
キャリトラック KC
4WD・MT・AC・PS・ラジオ

総額 **79 万円**

(車両74.1万円/諸費4.9万円)

- 年 式: 平成27年8月
- 走行距離: 7.8万キロ
- 車 検: 令和9年8月



SUZUKI
キャリトラック KC
4WD・MT・AC・PS・ラジオ

総額 **69 万円**

(車両62.7万円/諸費6.3万円)

- 年 式: 平成24年7月
- 走行距離: 2.9万キロ
- 車検整備付



未使用車

SUZUKI
エブリイバン PARIミテッド
4WD・4AT・AC・PS・ラジオ

総額 **157 万円**

(車両151.4万円/諸費5.6万円)

- 年 式: 令和8年7月
- 走行距離: 4千キロ
- 車 検: 令和10年7月



SUZUKI
エブリイバン PARIミテッド
4WD・4AT・AC・PS・ラジオ

総額 **98 万円**

(車両91.5万円/諸費6.5万円)

- 年 式: 平成30年1月
- 走行距離: 3.6万キロ
- 車検整備付



DAIHATSU
ハイゼットカーゴ Sスクリーン
4WD・AT・AC・PS・ラジオ

総額 **89 万円**

(車両82.6万円/諸費6.4万円)

- 年 式: 平成30年3月
- 走行距離: 7.9万キロ
- 車検整備付



MITSUBISHI MOTORS
ミニキャブバン M
4WD・5AGS・AC・PS・ラジオ

総額 **89 万円**

(車両82.7万円/諸費6.3万円)

- 年 式: 平成29年12月
- 走行距離: 6.2万キロ
- 車検整備付



SUZUKI
ジムニー XC
4WD・MT・AC・PS・PW

総額 **179 万円**

(車両173.3万円/諸費5.7万円)

- 年 式: 平成30年12月
- 走行距離: 6.4万キロ
- 車 検: 令和9年11月



SUZUKI
ワゴンR-HYBRID FX
2WD・AT・AC・PS・PW

総額 **99.8 万円**

(車両93.6万円/諸費6.2万円)

- 年 式: 平成24年10月
- 走行距離: 5.5万キロ
- 車 検: 令和9年9月



DAIHATSU
タント X SaIII
2WD・AT・AC・PS・PW

総額 **89 万円**

(車両83.4万円/諸費5.6万円)

- 年 式: 平成31年4月
- 走行距離: 4.1万キロ
- 車 検: 令和10年4月



人気の
セニアカー

SUZUKI
セニアカー ET4D9
2WD・AT

総額 **23 万円**

(車両23万円/諸費0万円)

- 年 式: 令和3年7月

今お乗りのお車の

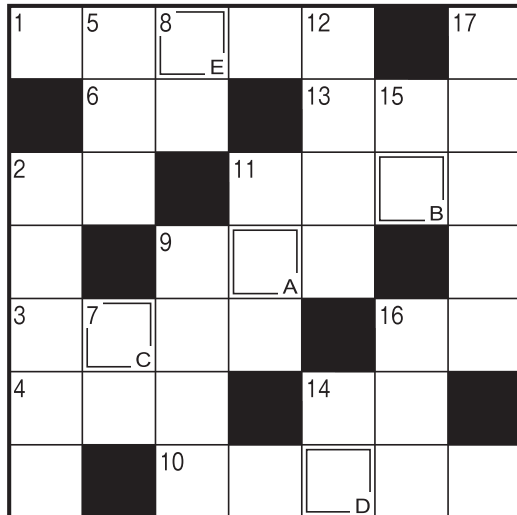
買取価格保証

～軽自動車2万円以上・登録車3万円以上～



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ② ススキや月見団子を供える行事
- ⑤ ブドウを使って仕込む酒
- ⑦ エックスとゼットのあいだ
- ⑧ カミの反対
- ⑨ 北海道の市。監獄があったことで有名
- ⑪ 悪いものが入っていないか、先に食べて証明します
- ⑫ 高橋真梨子のヒット曲『——吐息』
- ⑭ 羊の肉はマトン。子羊の肉は
- ⑮ 落花生にはタンパク——も豊富に含まれます
- ⑯ 鹿児島県の桜島は活発に繰り返しています
- ⑰ はえば立て、立てば歩めの——

ヨコのカギ

- ① 秋らしい風情の雲。魚の名前がつきます
- ② 天・地・——
- ③ 大酒飲みのこと
- ④ 先手が黒、後手が白を使います
- ⑥ さつま、里、こんにやくといえ
- ⑨ でこぼこの進みづらい道のこと
- ⑩ 音楽にのれる人に備わっているもの
- ⑪ アルバイト、グミ、カルテといった言葉の元はこれ
- ⑬ 形態——はものまねの一種
- ⑭ サギソウもデンドロビウムもこの仲間
- ⑯ ゆっくりつかって疲れを取り

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒699-0593

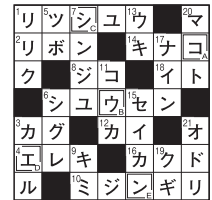
JA 斐川地区本部 組織広報課 行き

（※住所の記載は不要です）

2026年9月4日（金）（当日消印有効）

先月号の答え

「コウセン」



川柳の広場

最優秀賞

世の中を分かったつもり今日を生き

隠岐の島町 上川 晃一様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

優秀賞

炎天下水と覚悟を連れて出る

出雲市 櫛井 伸幸様

夢きらきらたくさん光っていた夜店

兵庫県 小田 和子様

少年の日の思い出や鰻釣り

兵庫県 小田 慶喜様

佳作

八十路坂欲を味方に動く足

出雲市 坂本ヤヨイ様

生きている証だ今朝の水美味い

出雲市 竹田 和子様

ちっぽけな悩みと気づく広い空

出雲市 佐野美和子様

長寿とはほどよき酒とよき笑顔

雲南市 飯塚 保春様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、

ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。

※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。

※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1

JAしまね ふれあい広報課

「俳句の広場係」または「川柳の広場係」

FAX：0852-67-7708

Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



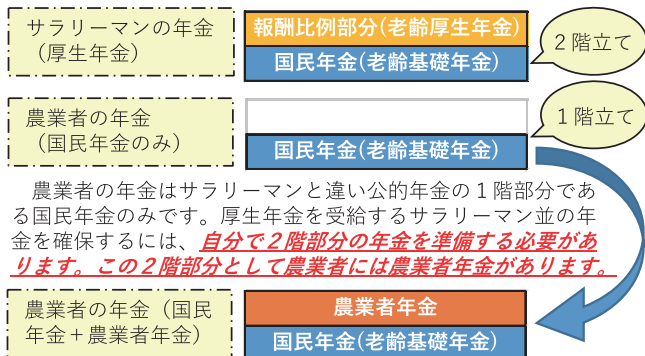
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 には…



の方なら **どなたでも** 加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
だけど税金が多くなるのでは…
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円)が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

ハチを見かけたら巣づくり警報！

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に
お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社/島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 ☎0852-26-6757 ■出雲営業所 ☎0853-31-9600

■益田営業所 ☎0856-22-5390 ■江津出張所 ☎0855-52-6852

■隠岐営業所 ☎08512-2-2471



島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

ズッキーニのマリネ

材料（4人分）

ズッキーニ……………400g
オリーブ油……………大さじ1
塩こしょう……………少々
玉ねぎ……………1個（300g）
ピーマン…4～5本（50g）
A かんたん酢……………100cc
薄口醤油……………大さじ1
粗びき黒胡椒……………少々

コメント

- ・油控えてヘルシーなのに、コクがあって大満足の一品です！
- ・大きく育ってしまったズッキーニでも食べやすく、日持ちもするお助け副菜。

作り方

- ①玉ねぎは薄くスライスする。辛みが気になる場合は水にさらすか、しばらく空気にさらし辛みを取る。
- ②ボウルにAの調味料を混ぜ合わせ、①の玉ねぎを加えてひと混ぜする。
- ③ズッキーニを厚さ1cmの輪切り又は半月切りにする。
- ④フライパンにオリーブ油を熱し、ズッキーニを並べ入れ、塩こしょうを振る。焼き色がついたら裏返し、好みの硬さに焼く。
- ⑤ズッキーニが熱いうちに、②のボウルに浸す。
- ⑥薄くスライスしたピーマンも加え、ひと混ぜする。



アレンジ

- ・タコやエビ、サーモン、ちりめんじゃこなどシーフードを足すと、バリエーションが広がります。
- ・野菜は茄子、人参、南瓜、長ネギ等を焼いて入れたり、トマト、アボカド、きゅうり等をひと口大に切って入れたり、いろいろな野菜の組み合わせが楽しめます。

トマ玉丼

材料（4人分）

トマト……………3個（500g）
玉ねぎ……………1個（250g）
オクラ……………4本
豆腐……………150g
卵……………3個
水……………300cc
A 砂糖……………大さじ1
みりん……………大さじ1
醤油……………大さじ3
天かす……………大さじ4～
ごはん……………4杯分

コメント

- ・豆腐と卵でプロテインもしっかりチャージ！お肉なしでも大満足のスピード夏丼。
- ・だいりす！完熟トマトの天然の旨味と酸味が広がる夏の食欲回復に役立！

作り方

- ①トマトはヘタを取り、ひと口大に切る（お好みで湯むきにして皮を取る）。玉ねぎは縦半分に切って、5ミリ幅の薄切りにする。豆腐は1.5cm角に切る。オクラは板ずりして3ミリの厚さの輪切りにする。
- ②鍋にトマトと玉ねぎ、分量の水を入れて火にかけ、沸騰したら中火にし、玉ねぎに火を通す。
- ③②に豆腐とAを加え、再び沸騰したらオクラと溶き卵を回し入れ、ざっと混ぜて半熟のうちに火を止める。
- ④器に盛ったご飯の上に、③をかけ、天かすを振りかける。



アレンジ

- ・材料をオリーブ油で炒め、ピザ用チーズを加えて塩こしょうで味付けすればイタリアン丼に！
- ・豆腐を豚肉・牛肉・鶏肉に代えて、スタミナアップ！味付けは焼肉のたれでOK！

健康散歩
For Your Health

トイレが近くて困っていませんか？

JA島根厚生連

日中にトイレへ行く回数が多くて困っていませんか？

一般的に、成人の排尿回数は1日に5～7回程度とされており、排尿後に次の尿意を感じるまでは3～5時間程度かかるといわれています。一方で、尿意を感じる間隔が短くなり、排尿が1日に8回以上みられる場合は「頻尿」にあたるとされています。ただし排尿回数には個人差があり、回数がそれほど多くなくてもご自身が「トイレが近くて困る」と感じている場合には、頻尿として対応が必要なものもあります。

頻尿の原因には、次のようなものがあります。

■ 過活動膀胱

膀胱が過敏になり、尿が十分に溜まっていなくても膀胱が勝手に収縮してしまう病気です。急に強い尿意が起こり、トイレの回数が増えます。

■ 前立腺肥大

前立腺が大きくなることで尿道が圧迫され、尿が出にくくなります。排尿後もすっきりしない感じ（残尿感）があり、



何度もトイレに行きたくなることがあります。

■ 加齢・妊娠・出産

加齢や妊娠、出産によって膀胱や骨盤周囲の筋力が低下すると、一度に膀胱にためられる尿の量が減り、頻尿につながることがあります。

■ 膀胱炎

細菌が膀胱に入り炎症が起こることで、膀胱が刺激を受けやすくなります。そのため、尿があまり溜まっていなくても尿意を感じ、頻尿にトイレへ行くようになります。

頻尿は、原因に応じた治療や対策によって改善が期待できます。「トイレが近くて困る」、「夜中に何度も起きて眠れない」、「外出時にトイレが気になってしまう」など、日常生活に支障がある場合は、早めにかかりつけ医や泌尿器科に相談しましょう。



【編集後記】島根米の新品種の名称が「つぶきり」に決まりました！試食をさせていただく機会がありましたが、その名が表す通り大粒で美しく、一口だけでしたがとても美味しかったです！再来年から本格的に栽培が始まるとのこと。本誌でもしっかりPRしながら、楽しみに待ちたいと思います！（児）